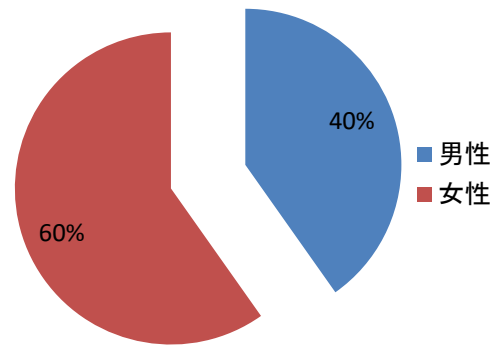
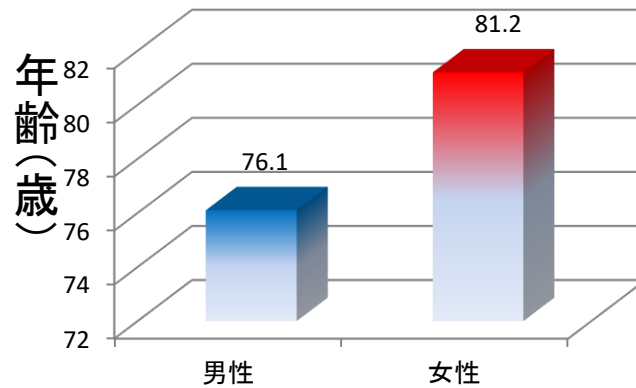


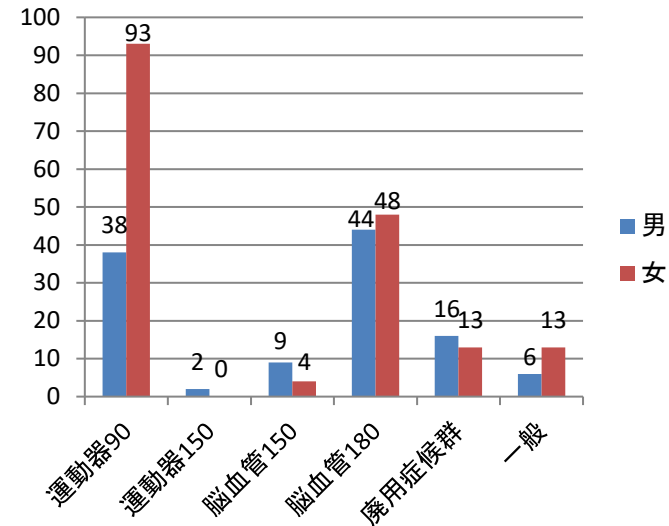
2024年度 入院患者
(平均年齢 79.2歳,n=286)



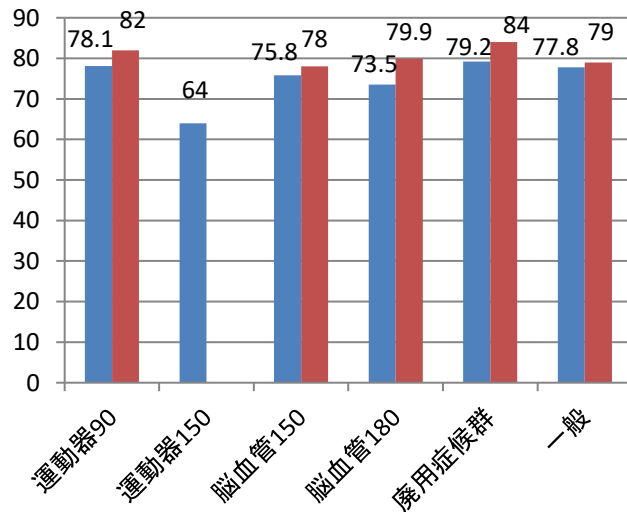
男女平均年齢



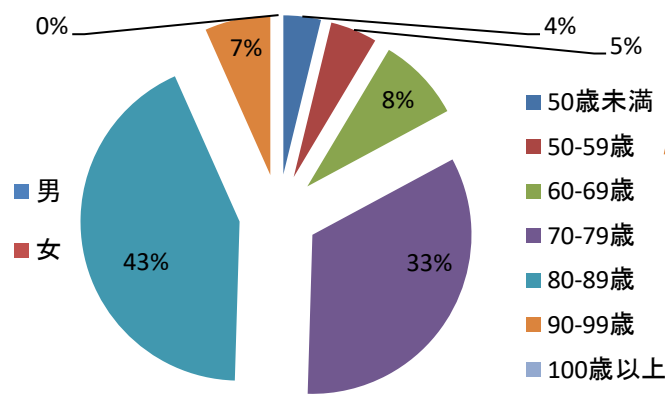
疾患別の男女数



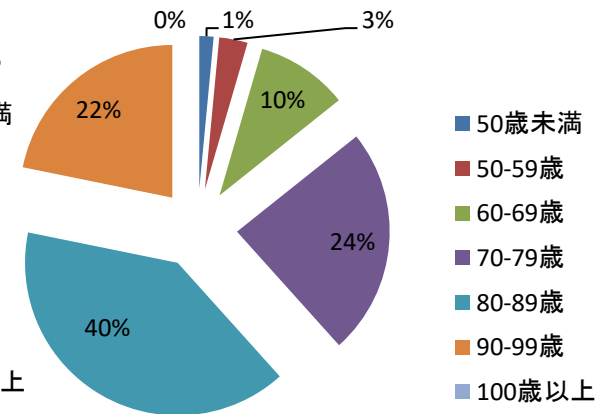
疾患男女別平均年齢



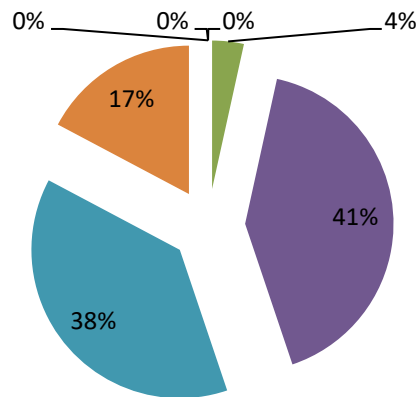
脳血管疾患
年齢分布 n105



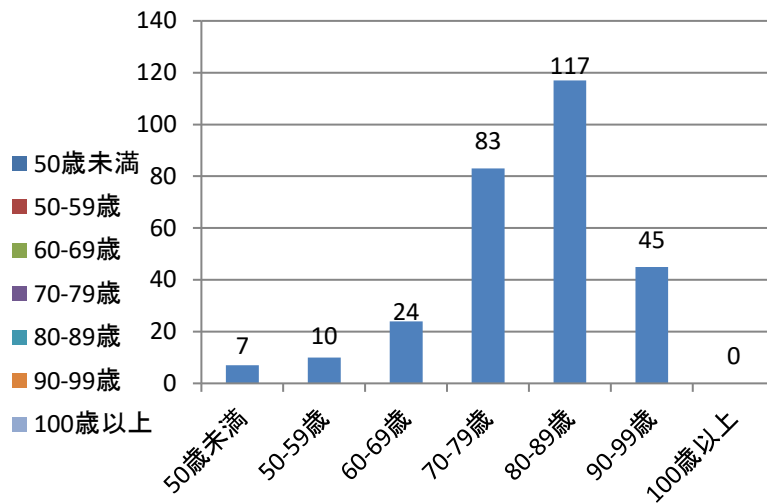
運動器疾患
年齢分布 n133



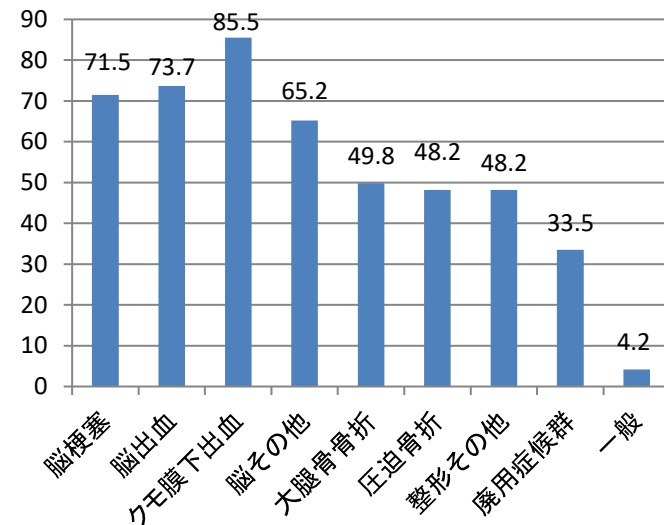
廃用症候群
年齢分布 n29



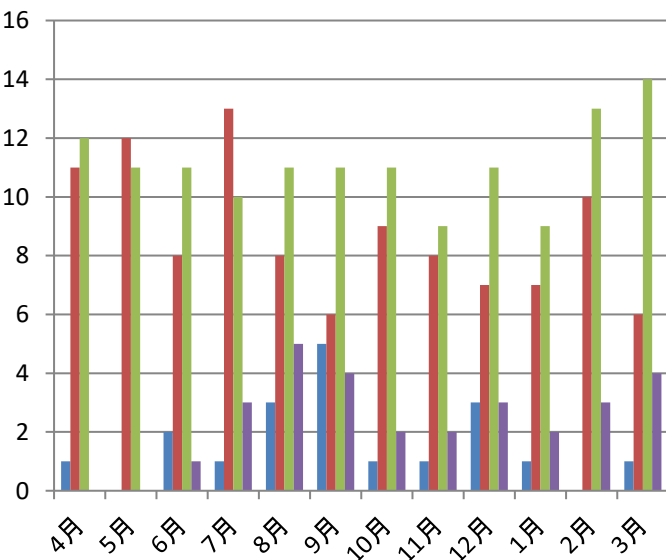
入院患者の年齢分布 n286



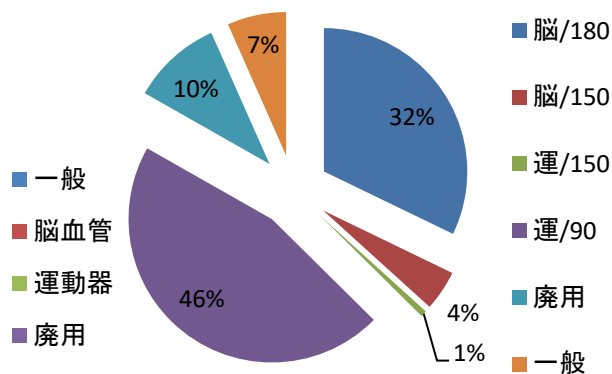
疾患別在院日数



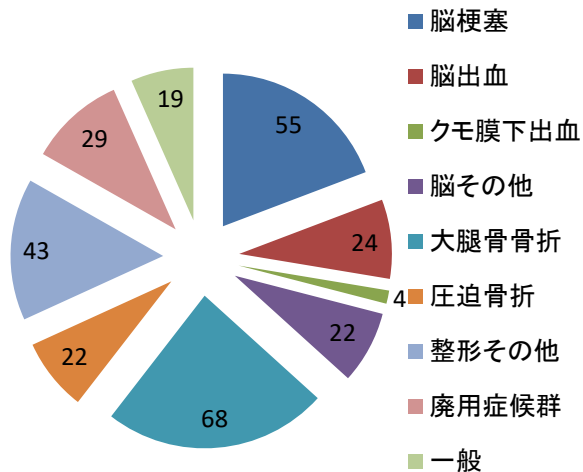
月別入院患者数



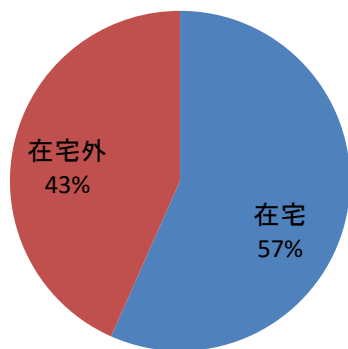
入院患者割合



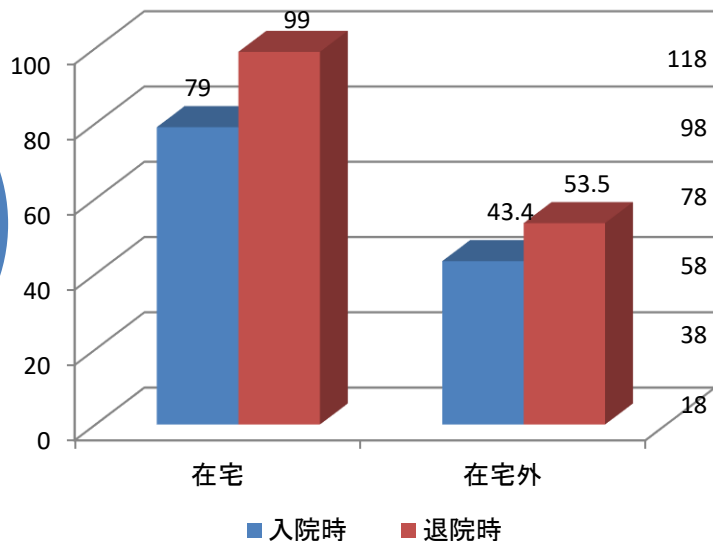
入院患者の基礎疾患



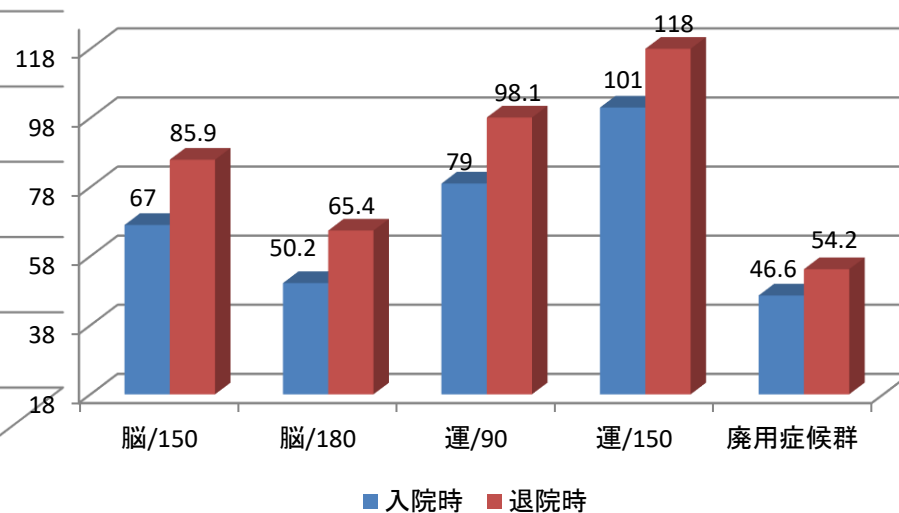
退院先n286



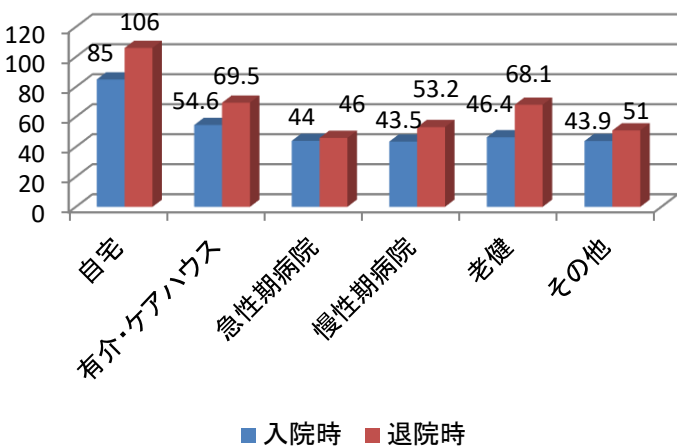
退院先別FIMの変化 n267(回復期対象患者)



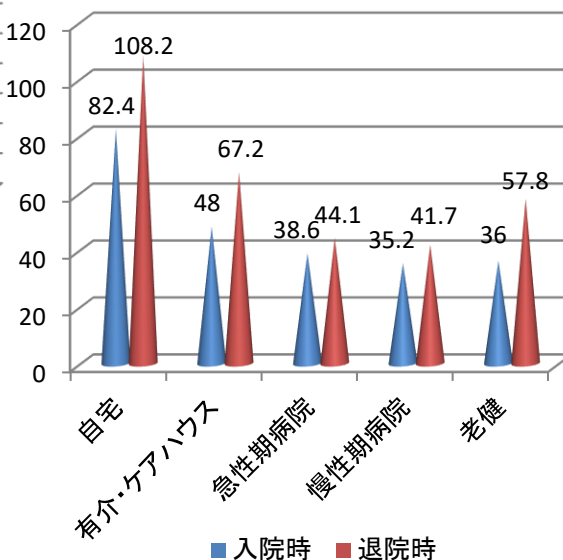
入院時・退院時のFIMの変化 n267(回復期対象患者)



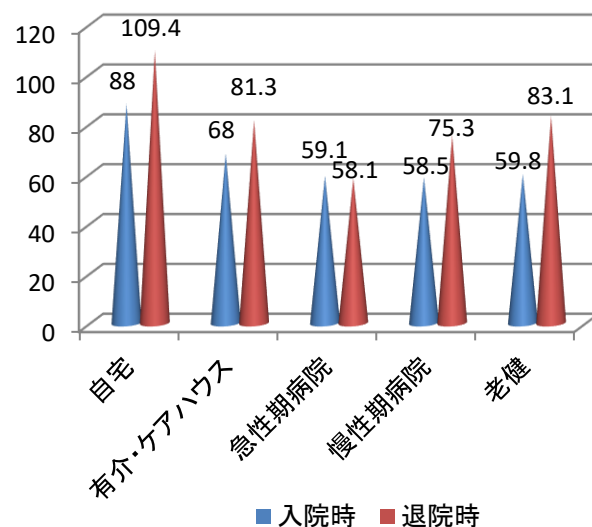
退院先別FIMの変化n267



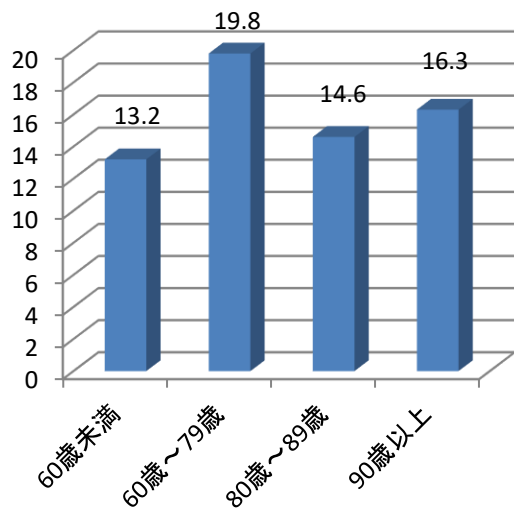
脳疾患における退院先別 FIMの変化n89



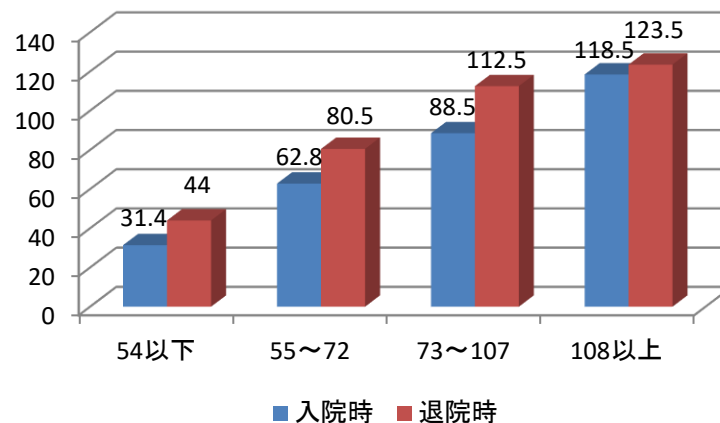
運動器における退院先別 FIMの変化n120



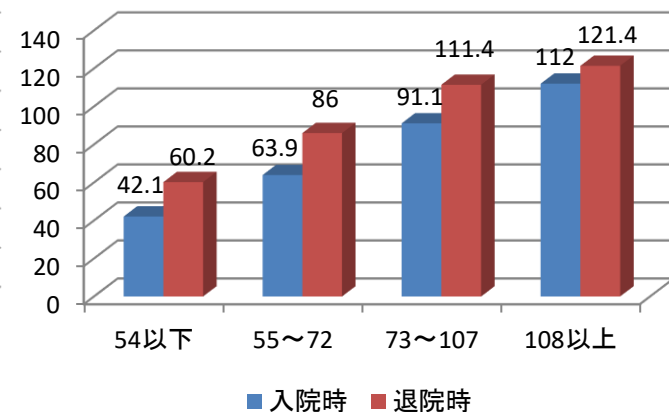
年齢とFIMの改善効果
(運動・認知合計)267



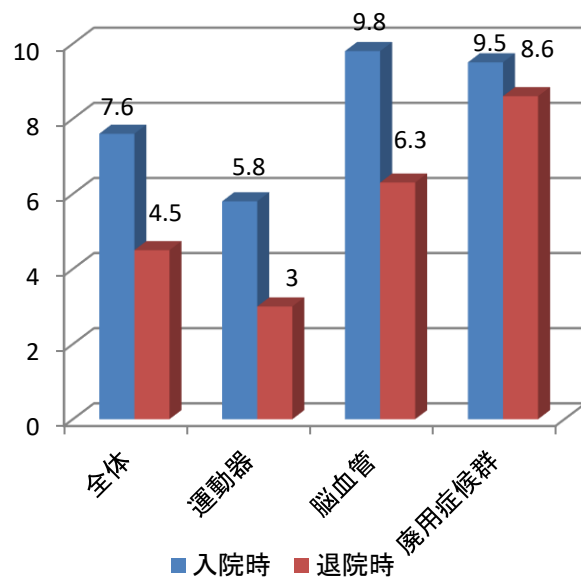
入院時FIM別の改善効果
:脳血管



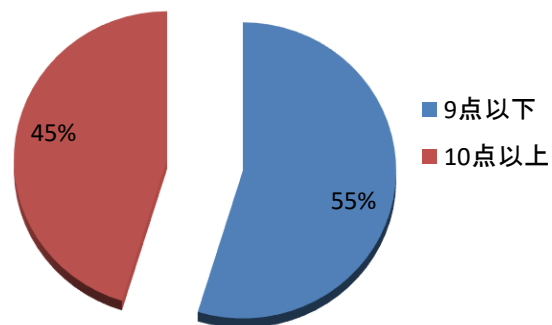
入院時FIM別の改善効果
:運動器



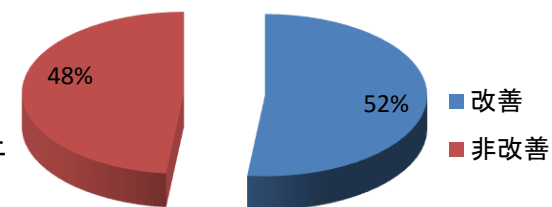
疾患別日常生活動作



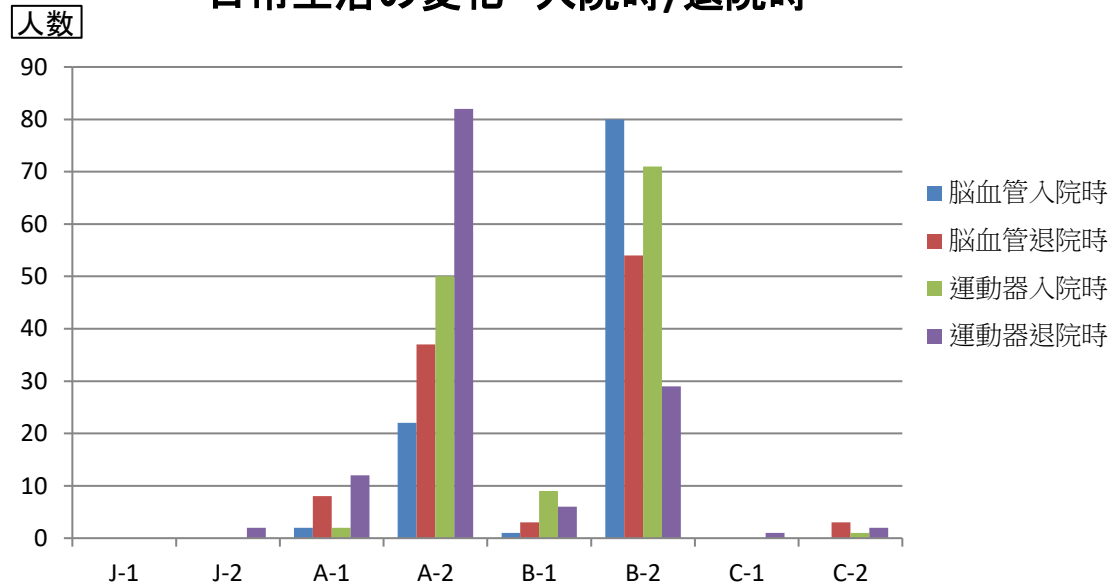
日常生活機能評価重症者割合
10点以上(重症者)



重症改善率4点n114



日常生活の変化 入院時/退院時



FIMとは

日常の生活動作の自立度を示す指標で、食事や移動などの運動ADL13項目と認知ADL5項目から構成されています。点数が高いほど日常自立した生活が送れていることを示しています。最低18点/最高126点

日常生活機能評価とは

食事摂取や衣服の着脱、トイレ動作など患者さまが日常生活で必要とする機能の状態を示す評価です。点数は0～19点で評価され、得点が高いほど自立度が低くなります。